

FUJITSU Workstation CELSIUS

CELSIUS C740

BIOS セットアップメニュー 一覧

インテル、Intel およびインテルCoreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
メイン (→P.3)	BIOSやワークステーション本体についての情報が表示されます。 また、日時や言語を設定します。
詳細 (→P.4)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
セキュリティ (→P.9)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
電源管理 (→P.10)	停電復旧時の動作や、Wakeup on LAN機能などを設定します。
IPMI管理 (→P.11)	iRMC (リモートマネージメントコントローラ) に関する設定を行います。
起動 (→P.13)	起動時の動作について設定します。
終了 (→P.14)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
 - ・ 次の表は、ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目です。

メニュー	設定項目	
メイン	言語 (Language)	
	システム日付	
	システム時刻	
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定	
起動	起動時のNumLock設定	
	起動時のロゴ表示	
終了	変更を保存して終了する	
	変更を保存せずに終了する	
	変更を保存して終了する (再起動)	
	変更を保存せずに終了する (再起動)	
	保存設定	変更を保存する 変更を保存しない
	ユーザー設定値を保存する	
	ユーザー設定値を読み込む	

メインメニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
BIOS情報	
BIOSベンダー	
カスタマイズ	
コア版数	
コンプライアンス	
システム情報	
システムボードおよびファームウェア	
BIOS版数	
BIOS日付	
Board GS	
型名	
UUID	
LANデバイス	
LAN 1 MAC Address	
LAN 2 MAC Address	
CPU詳細	
CPU名	
マイクロコード版数	
CPU速度	
キャッシュ容量	
CPUコア数	
スレッド数	
メモリ詳細	
メモリ容量／周波数	1MB=1024 ² バイト換算

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
Open Source Software Licence Information	
言語 (Language) ☐ English ☒ 日本語	
システム日付 01/01/1998～12/31/2099	【Tab】 キー／【Enter】 キー … 右の項目に移動
システム時刻 00 : 00 : 00～23 : 59 : 59	【Tab】 キー／【Enter】 キー … 右の項目に移動
アクセスレベル	管理者用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合は「管理者」、ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合は「ユーザー」と表示されます。

詳細メニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
オンボードデバイス設定	
LAN 1 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
LAN 2 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
拡張スロット状態	
拡張スロット 1 ☐ 使用する ☐ 故障 ☐ 未搭載	拡張カードが搭載されている場合に「使用する」が選択されます。
拡張スロット 2 ☐ 使用する ☐ 故障 ☐ 未搭載	拡張カードが搭載されている場合に「使用する」が選択されます。
拡張スロット 3 ☐ 使用する ☐ 故障 ☐ 未搭載	拡張カードが搭載されている場合に「使用する」が選択されます。
PCI Subsystem設定	
PERR設定 ☒ 使用しない ☐ 使用する	※注1
SERR設定 ☒ 使用しない ☐ 使用する	※注1
PCI Express Link設定	
ASPM Support ☒ 使用しない ☐ L1 Only	※注1
4GB以上のアドレス空間へのデコード ☐ 使用しない ☒ 使用する	※注1
DMI設定 ☐ GEN1 ☒ GEN2	
MMCFG BASE ☒ 2GB ☐ 3GB	※注1

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
CPU設定	
HTテクノロジー ☐ 使用しない ☒ 使用する	対応CPU搭載時のみ設定可能
アクティブコア 初期値：0	すべてのコアで初期値「0」
Limit CPUID Maximum ☒ 使用しない ☐ 使用する	
Hardware Prefetcher ☒ 使用する ☐ 使用しない	※注1
Adjacent Cache Line Prefetch ☒ 使用する ☐ 使用しない	※注1
DCU Streamer Prefetcher ☒ 使用する ☐ 使用しない	※注1
DCU Ip Prefetcher ☒ 使用する ☐ 使用しない	※注1
Intel Virtualization Technology ☐ 使用しない ☒ 使用する	※注2
VT-d ☒ 使用する ☐ 使用しない	※注2
TXT設定 ☒ 使用しない ☐ 使用する	※注2
Power Technology ☐ 使用しない ☒ Energy Efficient ☐ カスタム	※注1
Enhanced SpeedStep ☐ 使用しない ☒ 使用する	・「Power Technology」が「カスタム」時のみ設定可能 ※注1
Turbo Mode ☐ 使用しない ☒ 使用する	・「Power Technology」が「カスタム」かつ「Enhanced SpeedStep」が「使用する」時のみ設定可能 ※注1
Override OS Energy Performance ☒ 使用しない ☐ 使用する	・「Power Technology」が「カスタム」時のみ設定可能 ※注1
Energy Performance ☐ Performance ☒ Balanced Performance ☐ Balanced Energy ☐ Energy Efficient	・「Power Technology」が「カスタム」かつ「Override OS Energy Performance」が「使用する」時のみ設定可能 ※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
CPU C1E Support □使用しない ■使用する	・「Power Technology」が「カスタム」時のみ設定可能 ※注1
CPU C3 Report ■使用しない □使用する	・「Power Technology」が「カスタム」時のみ設定可能 ※注1
CPU C6 Report □使用しない ■使用する	・「Power Technology」が「カスタム」時のみ設定可能 ※注1
Package C State limit □C0 □C2 □C6 ■C6(Retention)	・「Power Technology」が「カスタム」時のみ設定可能 ※注1
QPI Link周波数 □6.4 GT/s □8.0 GT/s □9.6 GT/s ■自動	※注1
Uncore Frequency Override ■使用しない □使用する	※注1
ランタイムエラー記録設定	
ECCメモリエラー記録 □使用する ■訂正不可能なエラーのみ □使用しない	※注1
PCIエラー記録 ■使用しない □使用する	※注1
メモリ状態	
DIMM-1A □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合に「使用する」が選択されます。
DIMM-2A □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合に「使用する」が選択されます。
DIMM-1B □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合に「使用する」が選択されます。
DIMM-2B □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合に「使用する」が選択されます。
DIMM-1C □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合に「使用する」が選択されます。

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
DIMM-2C □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合に「使用する」が選択されます。
DIMM-1D □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合に「使用する」が選択されます。
DIMM-2D □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合に「使用する」が選択されます。
メモリ設定	
NUMA □使用しない ■使用する	
DDR Performance ■Performance optimized □Energy optimized	※注1
SATA設定	
SATAコントローラ設定	
SATAコントローラ □使用しない ■使用する	※注1
SATA Mode □IDE Mode ■AHCI Mode □RAID Mode	「SATAコントローラ」が「使用する」時のみ設定可能 ※注1
Aggressive Link Power Management □使用しない ■使用する	「SATAコントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
sSATAコントローラ設定	
sSATAコントローラ ■使用する □使用しない	※注1
sSATA Mode □IDE Mode ■AHCI Mode □RAID Mode	「sSATAコントローラ」が「使用する」時のみ設定可能 ※注1
Aggressive Link Power Management □使用しない ■使用する	「sSATAコントローラ」が「使用する」かつ「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
sSATA Port 9	
Port 9 □使用しない ■使用する	「sSATAコントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	「sSATAコントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
External sSATA Port ■使用しない □使用する	「sSATAコントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
Hot Plug ■使用しない □使用する	「sSATAコントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
SMART設定	
SMART診断 □使用しない ■使用する	
Acoustic Management設定	※注1
互換性サポートモジュール設定	
互換性サポートモジュール □使用する ■使用しない	「セキュアブート機能」が「使用しない」時のみ設定可能
起動モード ■UEFIとLegacy	「セキュアブート機能」が「使用しない」時のみ表示
ネットワークからの起動 □使用しない □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	「セキュアブート機能」が「使用しない」時のみ設定可能
起動時のストレージ用オプションROM □使用しない □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	「セキュアブート機能」が「使用しない」時のみ設定可能
起動時のビデオ用オプションROM □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	「セキュアブート機能」が「使用しない」時のみ設定可能
起動時のその他のオプションROM □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	「セキュアブート機能」が「使用しない」時のみ設定可能

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
TPM (セキュリティチップ) 設定	
TPM (セキュリティチップ) 設定	
セキュリティチップ □無効にする ■有効にする	
TPM状態の変更 ■無効にする □有効にする	・「セキュリティチップ」が「有効にする」時のみ設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「セキュリティチップの設定を変更する」をご覧ください。 ・Windows 8.1の場合、Windowsのセットアップ後の再起動時に「有効にする」に設定されます。
TPM状態の変更内容 ■変更しない □Enable Take Ownership □Disable Take Ownership □クリアする	・「セキュリティチップ」が「有効にする」かつ「TPM状態の変更」が「有効にする」時のみ設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「セキュリティチップの設定を変更する」をご覧ください。
現在のTPMの状態	
TPM Enabled Status	「セキュリティチップ」が「有効にする」時のみ表示
TPM Active Status	「セキュリティチップ」が「有効にする」時のみ表示
TPM Owner Status	「セキュリティチップ」が「有効にする」時のみ表示
USB設定	
USB設定	
xHCI モード □Smart Auto ■自動 □使用する □使用しない	本設定を「使用しない」に設定すると、USB3.0ポートはUSB2.0ポートとして機能します。
USBレガシーサポート ■使用する □使用しない □自動	
マストレージデバイス ■自動 □Floppy □Force FDD □Hard Disk □CD-ROM	接続された各USBデバイスごとに設定可能

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
USBポートセキュリティ	
USBポート設定 ■全て有効 □全て無効 □前面と内部のみ有効 □背面と内部のみ有効 □内部のみ有効 □使用中ポートのみ有効	
USBデバイス設定 ■全てのデバイス □キーボード/マウスのみ □ストレージとHub以外	「USBポート設定」が「前面と内部のみ有効」／「背面と内部のみ有効」／「使用中ポートのみ有効」時のみ設定可能
シリアル/パラレルポート設定	
Super I/O Chip	
シリアルポート0設定	
シリアルポート ■使用しない □使用する	
デバイス設定	「シリアルポート」が「使用する」時のみ表示
I/Oアドレスと割り込み ■自動 □IO=3F8h; IRQ4; □IO=3F8h;IRQ3,4,5,6,7,9,10,11,12; □IO=2F8h;IRQ3,4,5,6,7,9,10,11,12; □IO=3E8h;IRQ3,4,5,6,7,9,10,11,12; □IO=2E8h;IRQ3,4,5,6,7,9,10,11,12;	「シリアルポート」が「使用する」時のみ設定可能
ネットワークスタック	
ネットワークスタック □使用しない □使用する	・ Windows 8.1の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定されています。 ・ 「標準設定値を読み込む」を実行すると、「使用しない」に設定されます。
IPV4環境での起動 □使用しない ■使用する	「ネットワークスタック」が「使用する」時のみ設定可能
IPV6環境での起動 □使用しない ■使用する	「ネットワークスタック」が「使用する」時のみ設定可能

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
オプションROM設定	
拡張スロット1のオプションROM □使用しない ■使用する	
拡張スロット2のオプションROM □使用しない ■使用する	
拡張スロット3のオプションROM □使用しない ■使用する	
Intel(R) Ethernet Connection I217-LM	オンボードLAN1デバイスのオプションROMに関するサブメニューです。 ※注1
Intel(R) I210 Gigabit Network Connection	オンボードLAN2デバイスのオプションROMに関するサブメニューです。 ※注1
UEFIドライバの状態	

注1：本設定は初期値のまま変更せずにお使いください。

注2：本ワークステーションにこの機能の動作が確認されたソフトウェアを搭載していない場合は、「使用しない」に設定してください。「使用する」に設定した場合の動作保証はできません。

セキュリティメニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード設定	『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
ユーザー用パスワード設定	『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
WOL時のパスワードスキップ ☒ 使用しない ☐ 使用する	・使用しない…WoL機能での起動時に、パスワード入力求めない ・使用する…WoL機能での起動時に、パスワード入力求めない ・「ユーザー用パスワード」を設定した場合に設定可能 ※注1
フラッシュメモリへの書き込み ☐ 使用しない ☒ 使用する	
起動時のパスワード入力 ☒ 毎回 ☐ 使用しない	・毎回…本ワークステーション起動時に、パスワード入力求めない ・使用しない…本ワークステーション起動時に、パスワード入力求めない ・「ユーザー用パスワード」を設定した場合に設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
起動時のHDDパスワード入力 ☒ 使用する ☐ 使用しない	・使用する…本ワークステーション起動時に、ハードディスクパスワード入力求めない ・使用しない…本ワークステーション起動時に、ハードディスクパスワード入力求めない ・再起動時は本設定に関係なくパスワード入力の要求はなし ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
〔ハードディスクドライブ名〕	・ハードディスクセキュリティに対応したハードディスク搭載時のみ表示 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
ハードディスクセキュリティ設定	
Security Supported	設定状況を表示
Security Enabled	設定状況を表示
Security Locked	設定状況を表示
Security Frozen	設定状況を表示

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
ユーザーパスワードの状態	設定状況を表示
マスターパスワードの状態	設定状況を表示
ユーザーパスワード設定	電源投入直後にBIOSセットアップを起動した場合のみ設定可能。再起動後は表示されません。
セキュアブート設定	
署名情報の保護	・設定状態を表示 ・「無効（セットアップモード）」または「有効（ユーザーモード）」が表示されます。
セキュアブート	・設定状態を表示 ・「セキュアブート機能」が「使用する」時に「使用する」、「セキュアブート機能」が「使用しない」時に「使用しない」と表示されます。
セキュアブート機能 ☐ 使用しない ☐ 使用する	・ご購入時はWindows 8.1の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定されています。 ・「標準設定値を読み込む」を実行すると、「使用しない」に設定されます。 ・本設定を変更して再起動すると、「起動デバイスの優先順位」が変更されます。必要に応じて起動順位を設定し直してください。 ※注2 ※注3
署名情報設定 ☒ 標準 ☐ カスタム	
署名情報の管理	
署名情報の初期化 ☐ 使用しない ☒ 使用する	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
署名情報の初期化	「署名情報設定」が「カスタム」時かつ「署名情報の初期化」が「使用する」時のみ表示および設定可能
署名情報の削除	「署名情報設定」が「カスタム」時かつ「署名情報の初期化」が「使用しない」時のみ表示および設定可能
キーの保存	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
Platform Key (PK)	
PKの削除	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
PKの新規登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Key Exchange Key Database(KEK)	
KEKの削除	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
KEKの新規登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
KEKへの追加登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
Authorized Signature Database(DB)	
DBの削除	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
DBの新規登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
DBへの追加登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
Authorized TimeStamps(DBT)	
DBTの削除	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
DBTの新規登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
DBTの追加登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
Forbidden Signature Database(DBX)	
DBXの削除	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
DBXの新規登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
DBXへの追加登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能

注1: WoL時にハードディスクパスワードの入力をスキップすることはできません

注2: 「セキュアブート機能」が「使用する」で、Windows 8.1 (UEFIモード) およびWindows 8 (UEFIモード) 以外のOSから起動した場合、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」などのメッセージが表示されます。

注3: Windows 8.1のモード (UEFI/レガシー) は、次の手順で確認できます。

- 1 Windows 8.1を起動します。
- 2 **【F2】** + **【C】** キーを押すか、チャームを表示します。
- 3 「検索」をクリックし、「msinfo32」と入力して**【Enter】**キーを押します。
「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

電源管理メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
電源管理設定	
電源オン設定 ■BIOS制御 □ACPI制御	
S4時の電源管理 ■使用しない □使用する	※注1
電源オフ時のUSB電源供給 ■電源OFF □電源ON	※注1
ウェイクアップ設定	
LAN □使用しない ■使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注2 ※注3 『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「Wakeup on LANを有効にする」をご覧ください。
LANによるウェイクアップ後の起動 ■起動順位に従う □ネットワークから起動する	「LAN」が「使用する」時のみ設定可能
時刻 ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注2 ※注4 『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「Wakeup on LANを有効にする」をご覧ください。
時 0～23	「時刻」が「使用する」時のみ設定可能
分 0～59	「時刻」が「使用する」時のみ設定可能
秒 0～59	「時刻」が「使用する」時のみ設定可能
モード □毎週 ■毎日 □毎月	「時刻」が「使用する」時のみ設定可能
日曜日 □使用する ■使用しない	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎週」時のみ設定可能
月曜日 □使用する ■使用しない	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎週」時のみ設定可能

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
火曜日 □使用する ■使用しない	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎週」時のみ設定可能
水曜日 □使用する ■使用しない	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎週」時のみ設定可能
木曜日 □使用する ■使用しない	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎週」時のみ設定可能
金曜日 □使用する ■使用しない	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎週」時のみ設定可能
土曜日 □使用する ■使用しない	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎週」時のみ設定可能
日 1～31	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎月」時のみ設定可能
USBキーボード ■使用しない □使用する	「電源オフ時のUSB電源供給」が「電源ON」時のみ設定可能 ※注1

注1：本設定は初期値のまま変更せずにお使いください。

注2：Windows 8.1およびWindows 8の場合、Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。

注3：省電力状態（休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。デバイスマネージャでの設定が必要です。

注4：省電力状態（休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。タスクスケジューラまたはタスクでの設定が必要です。

IPMI管理メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
ファームウェア版数	
SDRR版数	
Asset Tag	※注1
内蔵ビデオ □使用しない ■使用する	内蔵ビデオ機能はサポートしていません。
OS起動リトライ回数 初期値：3	0～7
電源投入経過時間 初期値：7	・0～15 ・単位：秒
ASR&Rにより起動経過時間 初期値：2	・0～30 ・単位：分
温度監視 ■使用しない □使用する	
イベントログフル ■上書きする □上書きしない	
AC通電再開時の動作 □電源OFF ■自動 □電源ON	・設定変更は再起動後に有効 ・自動…電源断発生時の状態による。 起動中、休止状態は「電源ON」 シャットダウンは「電源OFF」 ※注2
シリアルポート ■システム □iRMC	※注1
Boot Watchdog □使用する ■使用しない	Boot Watchdog機能はサポートしていません。
タイムアウト時間 1～100	・「Boot Watchdog」が「使用する」時のみ設定可能 ・単位：分
動作 ■継続 □変更を保存せずに再起動する □電源切断・投入	「Boot Watchdog」が「使用する」時のみ設定可能

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
iRMC LAN設定	
iRMC LAN □使用しない ■使用する	
iRMC MACAddress	「iRMC LAN」が「使用する」時のみ表示
iRMC LAN速度 ■自動 □100 Mbit/s Full Duplex □100 Mbit/s Half Duplex □10 Mbit/s Full Duplex □10 Mbit/s Half Duplex □1000 Mbit/s	「iRMC LAN」が「使用する」時のみ設定可能
iRMC VLAN ■使用しない □使用する	・ iRMCのVLAN機能はサポートしていません。 ・ 「iRMC LAN」が「使用する」時のみ設定可能
VLAN ID 初期値：0	・ 「iRMC VLAN」が「使用する」時のみ設定可能 ・ 0～4094
VLAN Priority 初期値：0	・ 「iRMC VLAN」が「使用する」時のみ設定可能 ・ 0～7
iRMC IPv4 LAN スタック □使用しない ■使用する	「iRMC LAN」が「使用する」時のみ設定可能
IPアドレス設定 ■DHCPを使う □固定アドレスを使う	「iRMC IPv4 LAN スタック」が「使用する」時のみ設定可能
IPアドレス	・ 「IPアドレス設定」が「固定アドレスを使う」時のみ設定可能 ・ 「DHCP」時は自動で取得した値が表示される。 ※注3
サブネットマスク	・ 「IPアドレス設定」が「固定アドレスを使う」時のみ設定可能 ・ 「DHCP」時は自動で取得した値が表示される。 ※注3
ゲートウェイアドレス	・ 「IPアドレス設定」が「固定アドレスを使う」時のみ設定可能 ・ 「DHCP」時は自動で取得した値が表示される。 ※注3
iRMC IPv6 LAN スタック □使用しない ■使用する	「iRMC LAN」が「使用する」時のみ設定可能 ※注1
Link Local Address	「iRMC IPv6 LAN スタック」が「使用する」時のみ表示 ※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
コンソールリダイレクション	
コンソールリダイレクション ■使用しない □Serial 1	iRMCに対するコンソールリダイレクションに関する設定です。 iRMCのコンソールリダイレクション機能はサポートしていません。
Baud Rate ■9600 □19.2k □38.4k □57.6k □115.2k	「コンソールリダイレクション」が「Serial 1」時のみ設定可能
Protocol □VT100 □PC ANSI ■VT100+ □VT-UTF8	「コンソールリダイレクション」が「Serial 1」時のみ設定可能
Flow Control ■None □CTS/RTS	「コンソールリダイレクション」が「Serial 1」時のみ設定可能

注1：本設定は初期値のまま変更せずにお使いください。

注2：UPSなどを使って通電再開時に電源を投入させたい場合は、「電源ON」に設定してください。ただし、「電源ON」設定時に、本ワークステーションの電源切断状態からAC入力に瞬断が発生すると、本ワークステーションの電源が投入されることがあります。

注3：iRMCの「イーサネット設定」での設定と連動しています。後から設定を変更した値が有効となります。
設定については、『iRMC（リモートマネジメントコントローラ）の「イーサネット設定（IPアドレスの設定）」をご覧ください。

起動メニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
起動設定	
起動時のNumLock設定 ☒ On ☐ Off	Windowsログオン後は前回終了時の状態になる
起動時のロゴ表示 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
ハードウェアの状態表示 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
起動エラー時の動作 ☐ 起動を続ける ☒ キー押下まで待つ	
ネットワークサーバからの 起動リトライ ☒ 使用しない ☐ 使用する	
リムーバルメディアからの起動 ☐ 使用しない ☒ 使用する	

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
起動デバイスの優先順位	- OSを読み込むデバイスの優先順位を設定※注 『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「起動デバイスを変更する」をご覧ください。
Boot Option #n	nは起動の順位を示す。 - Windows 8.1の場合、ご購入時は次のように設定されています。 #1: Windows Boot Manager #2: UEFI: [CD/DVD デバイス名] #3: UEFI: IPv4 [LAN1 デバイス名] #4: UEFI: IPv6 [LAN1 デバイス名] #5: UEFI: IPv4 [LAN2 デバイス名] #6: UEFI: IPv6 [LAN2 デバイス名] - Windows 7の場合、ご購入時は次のように設定されています。 #1: [HDD デバイス名] #2: [CD/DVD ドライブ名] #3: [LAN1 デバイス名] #4: [LAN2 デバイス名] - カスタムメイドオプションおよびお使いの状況によって起動順位が異なります。 「CD/DVD ドライブ」はCD/DVD デバイスが接続されている場合に表示されます。 「UEFI: [CD/DVD デバイス名]」は、UEFI起動可能なディスクをセットしている場合に表示されます。 - UEFI起動デバイスから起動する場合は、BIOS起動デバイスより上位に設定してください。 - 起動ドライブまたはディスクを交換すると、その順位が初期化され、最下位に追加されます。 - UEFIアプリケーションが優先順位を変更することがあります。

注：ネットワークサーバから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバシステムが必要となります。

終了メニュー

項目を選んで【Enter】キーを押すと、確認画面が表示されます。

設定項目	備考
変更を保存して終了する	
変更を保存せずに終了する	
変更を保存して終了する（再起動）	
変更を保存せずに終了する（再起動）	
保存設定	
変更を保存する	
変更を保存しない	
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・言語 (Language) ・システム日付 ・システム時刻 ・管理者用パスワード ・ユーザー用パスワード ・ハードディスクパスワード ・起動デバイスの優先順位 ・「IPM管理」メニュー配下の項目 『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「ご購入時の設定に戻す」をご覧ください。
ユーザー設定値を保存する	
ユーザー設定値を読み込む	
強制起動	
起動デバイス名	